

令和4年（2022年）10月21日

観光交流政策課

海外姉妹友好都市周年記念ロゴマークを制作しました！

- 本県と姉妹友好都市協定を締結している3つの地域が、40周年・5周年と節目の年を迎えました。
- これまでに築いてきた絆を大切に、今後の更なる交流を促進するため、絆の象徴として、各地域とのロゴマークを制作しました。
- 水際規制も緩和され、今後、益々活発になる交流事業等に活用していきます。

1 姉妹友好都市

- 中国・こうせいそうぞく広西壮族自治区 40周年（1982年（昭和57年）5月～）
- アメリカ・モンタナ州 40周年（1982年（昭和57年）7月～）
- 台湾・高雄市 5周年（2017年（平成29年）1月～）

2 各都市のデザイン

<中国・広西>



<米国・モンタナ>



<台湾・高雄>



3 デザイン決定の過程

各地域の大学と姉妹提携を行っている県内の大学の中から、デザイン・マンガ・イラストレーションを総合的に学習している崇城大学芸術学部の学生のみなさんに、都市ごとに複数の案を提案してもらいました。その中から、県と各地域双方でベースとなるデザインを決め、県と各地域と崇城大の三者でデザインを調整してきました。

4 デザインの特徴

「くまモン」と各都市の象徴的なコンテンツを組み合わせ、海外で人気のマンガテイストのかわいらしいデザインとしました。

5 制作者のコメント等

別添のとおり

【裏面あり】

6 その他

現在、県庁新館1階ロビーで、姉妹友好都市のパネル展を開催中です（～31日まで）。

パネル展では、本県と各地域との交流の歴史について、写真を交えて紹介しているほか、双方ゆかりの品物を展示しています。

なお、展示パネルには、今回制作したロゴマークを使用しており、活用の事例第1号となっています。



【問合せ先】	○本件全般について	熊本県観光交流政策課 植田
		電話 096-333-2156 内線 5212
	○ロゴ制作者に関すること	崇城大学芸術学部 村井准教授
		電話 096-326-3752

(別添)

制作者からのコメント等

デザイン			
地域名	中国・広西壮族自治区	アメリカ・モンタナ州	台湾・高雄市
制作者氏名	柿本 亜寿美	森岡 舞	坂巻 一徹
学部／学科	崇城大学芸術学部美術学科 1年	崇城大学芸術学部デザイン学科 2年	崇城大学芸術学部デザイン学科 3年
デザインに込めた意味	喜びと協和を表現しました。また、お互いの都市の関係性が今後も続いていく様に、それぞれの都市のキャラクターが楽しく踊っている様子を描きました	それぞれの都市のキャラクターがお互いを見つめていることでモンタナと熊本の繋がりを表現しました。	くまモンと高雄熊が仲良く手を振っていて、これからも熊本と高雄が友好都市として共に歩んでいってほしいという思いを込めました。
苦労した点	どうしたら今回のテーマである“お互いの絆”が見てくれる人に伝わるか等、バランスや構図を交えながら表現することが難しかったです。	くまモンとリアルかつキャラクター性のある恐竜を描く際の絵柄のバランスに苦労しました。	くまモンと高雄熊それぞれにレギュレーションがあり、それを守りながらデザインすることに苦労しました。
ロゴに期待すること	お互いの都市の友好関係が、その都市の人々やより多くの人に伝わって欲しいと願いを込めて描きました。	姉妹友好協定を締結している都市が周年を迎えるのを機に、この活動を少しでも多くの人に知ってもらいたいです。	このロゴをきっかけに熊本と高雄が姉妹都市だということを県民のみなさんに認知してほしいです。
各都市の象徴的なコンテンツ	少数民族の女性	恐竜	高雄熊（ガオションション）
	女性が着用しているのは、自治区の名前にもなっている壮族（チワン族）の民族衣装です。	恐竜の化石で有名なモンタナ州。ティラノサウルスの化石が多く発掘されています。	高雄市のPRキャラクター